

「六ヶ所村新庁舎建設基本構想・基本計画」策定に係る アンケート及びワークショップの概要について

1 目的

六ヶ所村新庁舎建設の検討における建設地の選定や導入機能の検討などの基本構想策定に向けて、具体的な課題の把握や事業全体の方針のために、村民や職員の意見を広く収集する。

2 想定する合意形成プロセス

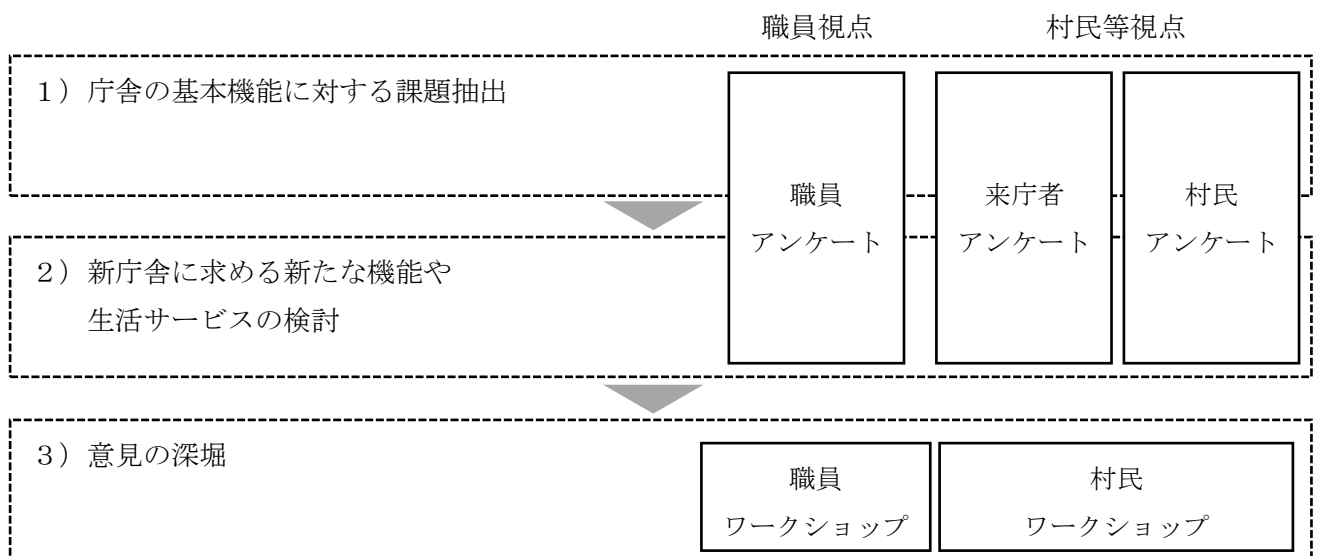


図1 本事業の合意形成プロセス

1) 庁舎の基本機能に対する課題抽出

各種アンケート結果を基に、課題を整理し、新庁舎の基本的な方向性を検討する。また、新庁舎に求める機能や条件を聞き、建設地選定の判断材料とする。

2) 新しい庁舎に求める新たな機能や生活サービスの検討

各種アンケート結果を基に、新庁舎へのニーズや必要機能を把握し、主に複合用途などの方向性について賛同を得られたことを確認し、基本構想へ反映する。

3) 意見の深堀

アンケート結果を踏まえ、ワークショップを通じて議論を行い、意見の深堀を図る。

3 合意形成を図るための各種調査の概要

3.1 職員アンケートについて

表1 職員アンケートの概要

項目	内容
目的	職務環境等に係る現庁舎の抱える問題点の把握、また、リモートワークやフレックスタイム制等の将来の働き方についての意見を収集
調査対象	一般職（正職員、任期付職員、再任用職員、任期付短時間勤務職員） ※ただし、おぶちこども園、泊保育所、千歳平診療所、六ヶ所消防署職員を除く
実施期間	2020年12月8日～12月14日
調査方法	・アンケートをWordファイルにて庁内掲示板に掲示、職員作成後のアンケートをメールにより回収

3.2 職員ワークショップについて

表2 職員ワークショップの概要

項目	内容
目的	職員へのアンケート調査結果を基に、さらに具体的な意見を集めるために職員を対象としたワークショップを開催
参加対象	15名程度 ・新庁舎建設庁内検討委員会部会員 5人 ・募集職員（主幹以下の正職員） 10人
実施日	2020年12月25日
実施内容	・テーマは「現庁舎の課題を踏まえた庁舎機能」、「DX時代に対応した新しい働き方」「六ヶ所村らしい庁舎の特徴とは」の3つ ・活発な議論ができるように5人を1つのグループとし、各グループにて議論を進め、最後に各グループから結果を発表

3.3 来庁者アンケートについて

表3 来庁者アンケートの概要

項目	内容
目的	村民サービス等に係る現庁舎の抱える問題点の把握のために来庁者の意見を収集
調査対象	調査期間中に庁舎、出張所に来庁された方
実施期間	2021年1月25日～2月5日を予定（開庁日）
調査方法	・調査期間中に庁舎及び出張所の窓口にてアンケート用紙を配布し、直接記入していただく形式（必要回答数：352人以上） ・取りまとめの課名等を記載（来庁目的の把握のため）

3.4 村民アンケートについて

表4 村民アンケートの概要

項目	内容
目的	新庁舎に求める機能等の幅広い意見を村民から収集するため、郵送によりアンケートを実施
調査対象	六ヶ所村に住所を有する18歳以上の中から無作為抽出
実施期間	2021年1月25日～2月5日を予定
調査方法	・ 無作為に抽出した村民約2000人を対象に郵送にてアンケートを送付し、返送又はインターネット回答にて回収する（必要回答数：371人以上）

3.5 村民ワークショップについて

表5 村民ワークショップの概要

項目	内容
目的	来庁者及び村民アンケートの調査結果を基に、より具体的な行政サービスや庁舎の在り方など、新庁舎への意見を具体的に収集するためにワークショップを開催
参加対象	公募により選出した15名 ※公募方法：広報ろっかしよ1月号の折込チラシ
実施日時	2021年2月23日（火）祝日 14時～
実施場所	六ヶ所村文化交流プラザ・スワニー 大会議室
実施内容	・ テーブルワークの2回の2部構成 ・ それぞれの概要は表6のとおり

表6 村民ワークショップの想定内容

	実施方法	テーマ・内容
第1部 テーブルワーク	テーブルに分かれ、各テーブルのファシリテーションにより、議論～成果のまとめ	テーマ「リビングからつながる、行政サービス(Hi-tech)」 もし家庭のリビングから行政に相談できるとしたら何を相談したいか等
第2部 テーブルワーク	同じテーブルで右記のテーマについて議論～まとめ	テーマ「時間にとらわれない、サードプレイスとしての庁舎(Hi-touch)」 人が集まる、憩う場所となる庁舎にはどんな機能、スペースが必要か等
まとめ	意見の共有	各テーブル、議論の内容を踏まえて出た意見と理想の庁舎像の発表